

キラリわたしの学校

～地域とともにある学校～

藤岡第一小学校では昨年度より、地域の皆さんと保護者・学校が共に知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくコミュニティ・スクールに取り組んできました。コミュニティ・スクールでは地域の皆さんと学校運営について話し合う学校運営協議会を通して、目指す子ども像を共有しさまざまな取り組みを行っています。学校では「まちと学校 みんなつながり 学び合い」をスローガンに「地域とともにある学校づくり」を進めています。

これまで、児童が作った作品を商店街などに飾る街角美術館や地域イベントへの参加、地域の皆さんが作った作品などの観賞、また地域の皆さんとの座繰り体験などを行ってきました。これらの活動を通して、子どもたちは地域の良さを発見したり地域の

藤岡第一小学校

問い合わせ 学校教育課(☎508212)
藤岡第一小学校(☎20549)



↑運動会では学年問わず、大勢の児童が地域の人たちと一緒に藤岡音頭を踊りました。

大人の温かさを感じたり、自分たちが地域の一員として役に立っていることを実感できたりします。地域の皆さんからは「子どもの声があると元気が出るね」「やりがいを感じる」「役に立ててうれしい」などといった言葉が聞かれます。

また地域イベントのポスター作りや配布、来場者の案内などを手伝った「子どもまつりもりあげ隊」の児童は「近所の皆さんと一緒に仕事ができて良かった」「ありがとうと言ってもらえてうれしかった」「スーパーで地域の人に会ったときに声を掛けてもらえた」などと話します。

今後もこの取り組みを通して地域一体となった学校づくりに取り組んでいきます。



Name
おおみと ひより 大湊 日和さん
おおはた にの 大畑 仁乃さん
あざみ りこ 浅見 理子さん
からさわ こはく 唐澤 虎伯くん

人権を考える

問い合わせ 生涯学習課(☎26888)
学校教育課(☎508212)



スマイルハイタッチあいさつ運動

～教育現場における人権教育～

一人一人を大切に

市では、学校が保護者・地域と連携・協働して子どもを育てることを基盤とし、小中9年間の学びのつながりを大切にした連携型小中一貫教育を行っています。

教育で大切なことは、一人一人の子どもたちにとって安定した学びの環境を保障し、学力を確実に高めることと考えています。そのために、各一貫校では、子どもたちの実態を踏まえ目指す子ども像を共有し、その実現に向けて一人一人を大切にした指導を行っています。毎日の授業では、これまでの学びを生かしたり子どもの主体的・協働的な学びを取り入れたりして、お互いの考えを尊重しながら対話を通して自分の考えを広げ深める授業づくりを進めています。

そして子どもたちの良さを認め、褒め、自己決定・自己存在感・共感的人間関係を大切にし、子どもたちのやる気を引き出します。道徳の授業はもちろん、日々の他の授業

や学校生活において、人思いやる気持ちや善悪への判断力を培っています。

子ども会議の取り組み

子どもたちの人権意識を高めるきっかけの一つとして、毎年「いじめ問題解決に向けた子ども会議」を実施しています。小・中・高校生がいじめ問題に真摯に向き合い、いじめのない学校づくりのため話し合いを行っています。

平成25年度の子どもの会議で「スマイルハイタッチあいさつ運動」と「HAPPYはあ」とふるツリー運動(友達の良いところ探し)を実施することが決められ、それ以降各校で工夫して取り組んでいます。また28年度には「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション3(相手が喜ぶ言葉を使おう・送信する前に確認しよう・大切なことは相手の目を見て伝えよう)」を決めました。昨年度はこの「アクション3」を踏まえて、「学校生活で良い人間関係を築くためにどうしたらよいか」に

ついて話し合い、「学校生活で友達の良いところを伝え合う時間をつくろう」や「相手の目を見て言える内容か考えよう」など、「いじめは絶対に許さない」という思いを「アクション3+(プラス)」として今年度各学校で実践しています。

笑顔・やる気・希望

市教育委員会では平成29・30年度の2年間、鬼石小学校を「人権教育実践推進校」に指定し、子どもたちの学力向上・より良い人間関係づくりを進め、子どもたちが活躍できる学校づくりについて研究しています。この研究成果を市内全校に広げ、子どもたちの「笑顔・やる気・希望」のために人権教育の一層の充実を図っていきます。



HAPPYはあとふるツリー運動

本との出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)
休館日 月曜日
問い合わせ 図書館☎21669

ありがとうって言えたなら



著者▷瀧波 ユカリ
仲のいい親娘じゃなかったからこそ今伝えたいことがある。余命宣告、実家処分、お墓や遺影、最後の旅行そして緩和ケア病棟へ。母の死を真正面から描いたコミックエッセイ。

ののほな通信



著者▷三浦 しをん
横浜のお嬢様学校に通うクールで毒舌な「のの」と天真らんまん「はな」。親友となった2人だが、ののははなに友情以上の気持ちを抱き…。女子の生き方を書簡形式で紡ぐ。

かし瑕疵借り



著者▷松岡 圭祐
どの物件にでも起こり得る事件。賃借人失踪、謎の自殺、家族の突然死。訳あり物件に住み込む藤崎は、類いまれなる嗅覚で賃借人の人生をあぶり出し、瑕疵の原因を突き止める。